

K I S H U I C H I K A W A N I I G A T A K A T S U T A O S A K A N A G A O K A

KINKON

2024 夏
vol.21

ZERO
CO₂
2050™



HOKUETSU

北越コーポレーション

KINKONは、当社工場の地名の頭文字を組み合わせ、お客様を訪問する際のチャイム音「キンコン♪」をイメージした、当社の環境活動通信誌です。

CO₂削減に貢献するバイオマスボイラ

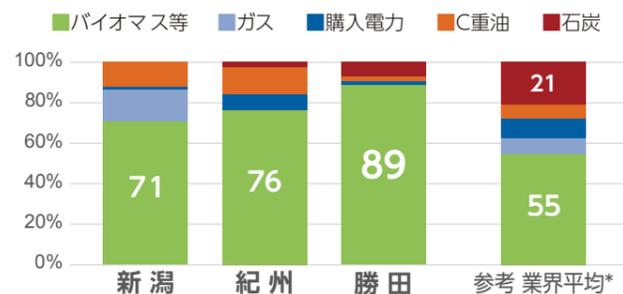
北越コーポレーションは、気候変動問題に対応すべくカーボンニュートラルエネルギーを積極的に活用しCO₂削減に取り組んでいます。

新潟工場と紀州工場はパルプ製造過程の副産物である黒液、関東工場(勝田)は建築廃材を主燃料としたバイオマスボイラを使用し、製紙に必要な蒸気と電力を生み出しています。

今回は、当社で最もカーボンニュートラルエネルギー比率の高い関東工場(勝田)のバイオマスボイラを紹介します。

関東工場(勝田)のバイオマスボイラ

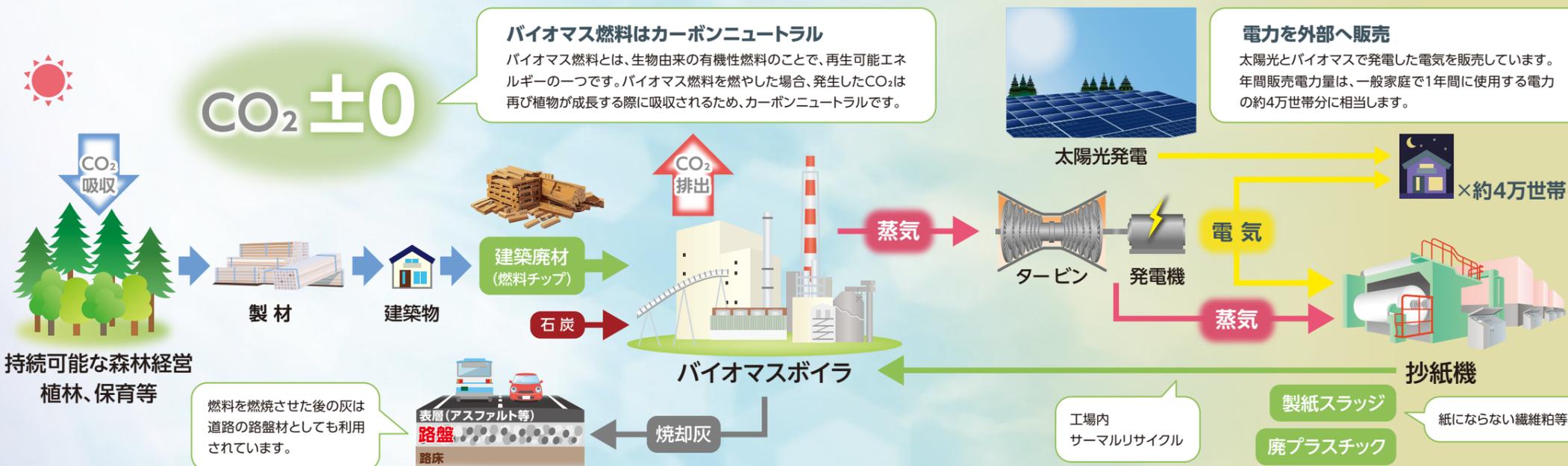
北越コーポレーション
バイオマスボイラ稼働工場のエネルギー構成比率(2022年)



● 関東工場(勝田)のカーボンニュートラルエネルギー比率は、約9割です。
*出典 日本製紙連合会 2023年度カーボンニュートラル行動計画フォローアップ調査結果(2022年度実績)



関東工場(勝田) バイオマスボイラ



関東工場(勝田) 製品

関東工場(勝田)では、紙の大消費地である首都圏に近い立地を活かして古紙原料を主体とした白板紙の生産をしています。

NEW DV-F

ハイクリーンコート
＜主な用途＞
医薬品・食品・化粧品等パッケージ、各種ディスプレイ 他

ハイラッキー-F

＜主な用途＞
カタログ、パンフレット、パッケージ、出版表紙用紙 他



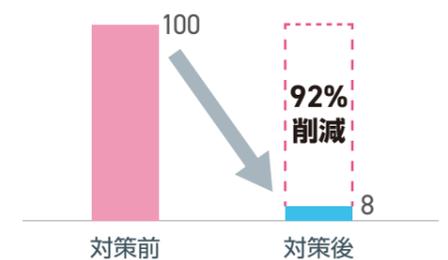
進化する関東工場(勝田)

建築廃材(燃料チップ)の集荷安定に向けた取り組み

バイオマスボイラで使用する建築廃材(燃料チップ)の入荷は、トラックによる輸送に依存しています。2024年問題への対応と入荷を円滑に進めるために以下2つの対策を実施しました。

- 受入れ時間を従来の12時間体制から24時間体制(日曜日を除く)へ変更。
 - トラックドライバーが携帯電話から到着希望時間を直接予約できるITシステムを導入。
- これらの対策を実施することでドライバーの待機時間が大幅に削減されました。

トラックドライバーの2時間以上の待機時間



対策前と比較して2時間以上の待機時間が大幅に削減されています。

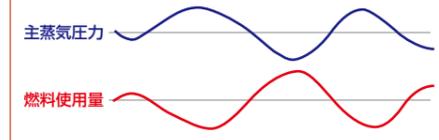
AIを活用したボイラ燃料の最適制御

ボイラは、一定の蒸気圧力で稼働する事が求められており、燃料を負荷要求量に応じて調整する必要があります。

関東工場(勝田)のバイオマスボイラでは、AI(人工知能)がボイラ運転状態の変化を監視し、最適な燃焼状態を維持しています。

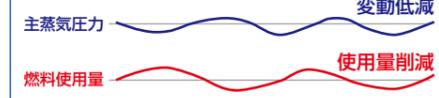
この機能は、蒸気の圧力変動から発生する燃料の過剰投入防止に繋がっており、省エネルギーに大きく貢献しています。

AI制御導入前



燃料開数の設定値と実際のズレを補正し、常時記憶・書き換えし続けることで、燃料開数を最適化。

AI制御導入後

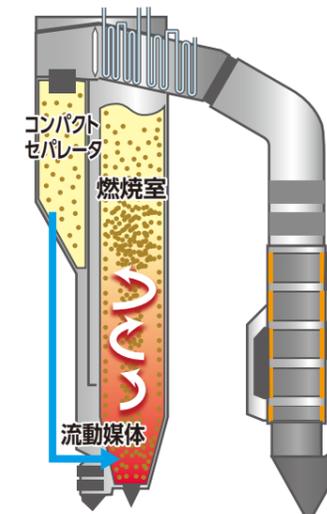


KINKON 豆知識

多様な燃料を効率的に燃焼させる流動床ボイラ

バイオマス燃料の効率的な燃焼の為に重要なことは、燃焼時間と温度、流動性です。

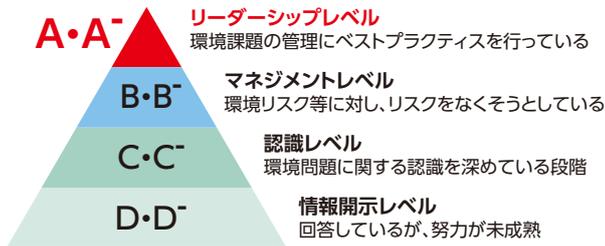
関東工場(勝田)は、高温で流動する砂の中に燃料を投入し効率的に燃焼させる流動床ボイラを導入しています。大きな熱容量の砂を流動媒体として難燃性の燃料などを安定して燃焼させることが可能です。



CDP2023レポートにおいて 気候変動「A-」、フォレスト「B」の評価獲得

当社は、国際的な非営利団体CDPIにより、「気候変動」分野において、最上位レベルのリーダーシップレベルに位置する「A-(マイナス)」を2年連続で獲得しました。「フォレスト」分野においては、上位3位のマネジメントレベルに位置する「B」を獲得しました。CDPIは世界の企業や都市に対して、各社の情報開示の包括性・リスク管理・高い目標設定・リーダーシップ等の情報から、独立した手法で企業を評価し、「A」から「D-(マイナス)」までの8段階のスコアを付与します。

今後も当社は、社会課題の解決と企業としての成長を両立させ、サステナビリティ活動を積極的かつ能動的に推進していきます。



新潟工場9号抄紙機建屋に 太陽光パネルを増設

新潟工場では2015年からメガソーラー発電を導入し外部へ販売しています。

この度、新潟工場9号抄紙機建屋に1,144枚の太陽光パネルを増設しました。今回増設した太陽光パネルで発電した電力は、全量自社で消費し、購入電力の削減やCO₂排出量の削減に役立てています。

当社は、北越グループ環境目標2030年の達成やカーボンニュートラルエネルギー比率の向上に取り組んでいます。



グリーン購入法に基づく「印刷用紙に係る判断の基準等の見直し」

2023年12月22日にグリーン購入法に基づく基本方針の変更について閣議決定されました。印刷用紙において、総合評価の計算式が見直され、資源循環に加え、森林の持続可能性や生物多様性等が一層評価されるようになり、新たに管理木材パルプも評価対象になりました。当社は、見直しされた総合評価に基づき、印刷用紙とコピー用紙のグリーン購入法対象製品一覧をホームページで公開しております。

グリーン購入法対象製品一覧 印刷用紙
<https://www.hokuetsucorp.com/pdf/print.pdf>



グリーン購入法対象製品一覧 コピー用紙
<https://www.hokuetsucorp.com/pdf/copy.pdf>

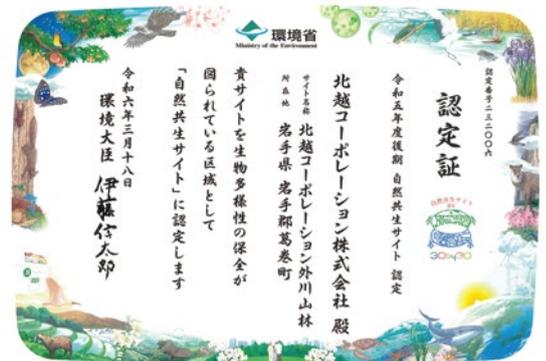


岩手県外川社有林が自然共生サイトに認定

環境省により、当社の岩手県外川社有林が「自然共生サイト」に認定されました。環境省では、生物多様性の損失を止め、反転させることを実現するために、令和5年度から「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」として認定する取り組みを開始しています。

当社は、持続可能な森林経営により、森林が有する多面的な機能の維持向上を図ります。

https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/documents/nintei/R5second06_HokuetsuCo_SodekawaForest.pdf



編集後記

私たちの生産活動では、気候変動などの社会課題の解決に向けて様々な取り組みを進めています。今号では、関東工場(勝田)のバイオマスボイラを中心に紹介しました。

表紙は、関東工場(勝田)の近隣にある国営ひたち海浜公園で咲くネモフィラの風景です。公園で咲く花々は季節ごとに種類が変わるので、訪れるたびに変わる景色を楽しめる公園です。みなさんもぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

この通信誌の用紙にはミューマット-F 157g/m²を使用しております。

KINKON vol.21

2024年7月発行

[発行]

北越コーポレーション株式会社

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-2

TEL(代):03-3245-4500 FAX:03-3245-4511

<https://www.hokuetsucorp.com>

